

第四期東京都医療費適正化計画への意見書（案）

1 一人当たり医療費の年齢調整について【追加】

（素案該当箇所）

第 2 部 都民医療費の現状

第 1 章 都民医療費の現状

第 2 節 都民医療費の動向

2 一人当たり医療費

P.7 図表 6 等

（意見）

一人当たり医療費について、都道府県別の比較を行う際には、単純な比較ではなく、他道府県との比較における東京都の特徴を明確にするため年齢調整後の図表を併記していただきたい。

（P 1 0 高血圧性疾患、P 1 3 腎不全、P 1 6 糖尿病、P 1 9 骨折、P 2 2 脳梗塞、P 2 5 気管、気管支及び肺の悪性新生物も同様）

（理由）

都道府県別に比較する場合、高齢化率や年齢構成に差があるため。例えば、一人当たり医療費の単純平均は全国で 6 番目に少なくなっているが、年齢構成を調整して比較すると、その実態がより明らかになる。

2 特定健康診査及び特定保健指導の数値目標について【目標値の設定】

（素案該当箇所）

第 4 部 医療費適正化に向けた取組の推進

第 1 章 都民の健康の保持増進及び医療資源の効率的な活用に向けた取組

第 1 節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

2 健康診査及び保健指導の推進（1）特定健康診査及び特定保健指導の推進

P.59 【数値目標】

（意見）

- ・令和 11 年度の数値目標が特定健康診査の実施率 70% 以上、特定保健指導の実施率 45% 以上と一律とされているが、P.50 図表 58 及び図表 59 で国が設定しているように都として保険者種別（単一健保組合、総合健保組合、共済組合等）の実施率の目標値の設定はないのか。
- ・計画期間中に達成可能と考えているのか。目標値を設定するにしても、これまでの実績等を考慮して現実味のある数値にしていきたい。

（理由）

- ・国では保険者種別ごとに実施率が異なることを踏まえて目標値を設定しているため。
- ・保険者でのデータヘルス計画の策定にあたり、検討委員会等において、学識経験者や検討委員から国の目標値は現実味がない等の意見があるため。

3 生活習慣病の発症・重症化予防に関するアウトカム指標の設定について【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組

第1章 住民の健康の保持増進及び医療資源の効率的な活用に向けた取組

第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

3 生活習慣病の発症・重症化予防の推進

P.63【取組の方向性】

(意見)

都は、糖尿病の発症予防、早期発見、重症化予防のための効果的な普及啓発を行うとともに、医療保険制度に応じた適切なアウトカム指標を設定し、区市町村、事業者等における取組を支援する旨を記載していただきたい。

(理由)

特に重症化予防については、その効果が見えづらいという課題がある。例えば、人工透析患者数を定点観測するなど、都としてのアウトカム指標を検討いただきたい。

4 重症者対策について【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組

第1章 住民の健康の保持増進及び医療資源の効率的な活用に向けた取組

第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

3 生活習慣病の発症・重症化予防の推進

P.63【取組の方向性】34行目

(意見：下線部追記)

○ 都は、糖尿病やメタボリックシンドロームにならないための、負担感のない生活習慣改善の工夫（一次予防）、定期的な健診受診や必要に応じ早期に医療機関を受診し、治療を継続することの重要性（二次予防）、糖尿病の重症化予防（三次予防）並びに重症化後のケアについて、都民の理解を一層深め、意識変容・行動変容を促していくため、ナッジ理論の活用などにより、効果的な啓発を行っていきます。

(理由)

生活習慣病が悪化して治療を継続しているが、健診結果では改善が見られず、またさらに悪化する方も散見されるため。

5 高齢期の取組事業の情報共有について【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組

第1章 住民の健康の保持増進及び医療資源の効率的な活用に向けた取組

第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

4 高齢期における社会生活を営むために必要な機能の維持

P.66 【取組の方向性】

(意見：取組の追加)

○ 都は、広域連合等と連携して推進する事業の内容やその成果等について、保険者協議会等を通じて情報共有を行います。

(理由)

運動機能や認知機能の維持のために、高齢期以前からの取組みの共有が効果的と考えるため。

6 マイナンバー保険証の利用促進に伴う関係者の役割について（東京都）【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組

第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携

1 関係者の役割（1）東京都の役割

P.94 20行目

(意見：役割の追加)

○ 都は、都民が適正な医療や薬剤処方を受けるために不可欠なマイナ保険証の利用を促すため、関係機関と連携し、推進していきます。

(理由)

マイナンバーの保険証利用については、都が関係機関と連携し、推進していく必要があるため。

7 マイナンバー保険証の利用促進に伴う関係者の役割について（医療の担い手等）【追加】

(素案該当箇所)

第4部 医療費適正化に向けた取組

第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携

1 関係者の役割（3）医療の担い手等の役割

P.95 9行目

（意見：役割の追加）

- また、患者が適正な医療や薬剤処方を受けるために不可欠なマイナ保険証の利用を促します。

（理由）

マイナンバーの保険証利用については、関係者がそれぞれの立場から推進していく必要があることから、医療の担い手等においても利用を促していただきたい。

8 マイナンバー保険証の利用促進に伴う関係者の役割について（都民）【追加】

（素案該当箇所）

第4部 医療費適正化に向けた取組

第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携

1 関係者の役割（5）都民の役割

P.95 31行目

（意見：役割の追加）

- 受診時や薬剤処方時にマイナンバー保険証を利用することで、データにもとづく適切な医療、より良い医療が受けられるなどのメリットを理解し、マイナンバー保険証の利用に努めます。

（理由）

マイナンバー保険証の利用促進のためには、国、自治体、医療機関、保険者、国民（都民）など、関係者が協力して推進することが必要不可欠だと考えるため。